

◆ 委員会報告

院内感染対策委員会

【目的】

院内感染を院内の感染状況を把握し感染予防を推進する。

【委員会構成】

委員長 松村医師
医師1名 看護師5名 薬剤師1名 検査技師1名
臨床工学士1名 事務1名

【内容】

- ① 毎月の感染レポートのチェック
- ② その他院内外の感染症の把握と対策

2004年度は院内で下記の2回の講演会を実施することができた。

- 第1回 実施日：7月12日(月)
内容：感染診療の原則
講師：青木眞先生（ビデオ放映）
- 第2回 実施日：10月13日(水)
内容：1. 感染対策について 松村医師
2. 結核の検査について
鬼塚検査技師

医療事故防止対策委員会

【目的】

主に医療者の立場から医療事故を未然に防止するための対策案の検討と、それを実施するために協議検討することを目的とする。

【委員会構成】

委員長 松村医師
医師1名、看護師5名、薬剤師1名、検査技師1名
臨床工学士1名、事務1名

【内容】

- ① インシデントレポートの報告
 - ② インシデント防止のための対策
 - ③ 職員向け事故防止対策講演会の実施
- 熊本県医師会主催の医療安全研修会が下記の内容で開催され、委員会から多数出席した。
- 第1回 9月14日(火) 医療安全対策の現状と課題
第2回 10月12日(火) 苦情・クレーム対応の基本と実際

栄養管理・NST・褥瘡管理委員会

【目的】

栄養管理業務・NST活動・褥瘡管理に関する項目について検討を行う。

【委員会構成】

医師1名、看護師5名、管理栄養士1名

【内容】

- NST・褥瘡回診（週1回）
- NST関連のデータ収集
- 給食管理業務についての報告、検討、対策
- 褥瘡管理業務に関する必要事項の検討、対策

臨床検査委員会

【目的】

当委員会は臨床検査の適正化及び効率的運営を目指すために、精度管理等、具体的事項について審議し、各部署間の情報伝達と連絡調整を図ることを目的とする。

【委員会構成】

委員長 庄野診療部長
看護師4名、検査技師2名、事務1名

【内容】

- 検体検査依頼伝票の新伝票への移行について
- 病院収益に占める検査収益の割合について
- エコーの検査件数推移、定期的検査の実施について
- 検査外注委託契約について
- 毎月の検査に関するレセプト査定結果について

医療倫理委員会

【目的】

「臨床研究に関する倫理指針」を理解し、患者の権利に対する配慮等について審議を行う。

【委員会構成】

医師3名、看護師2名、薬剤師1名、事務員1名

【内容】

2004年度は、インスリン使用量調査をはじめとする委託研究に関する審議、造影剤使用時の同意取得に関する審議（同意書の内容の検討など）、2003年度より検討していた「患者の権利と義務」に関する審議（職員に提示し、意見を求めた）など、計10回開催（持ち回り審議1回含む）。

2005年度は、機能評価受審に向け、当委員会の役割を再確認し、引き続き、患者の尊厳、人権の尊重ほか倫理面に配慮された医療が行われているかを討議していく。

薬事審議委員会

【目的】

新規採用薬・削除薬の検討をはじめ、医薬品の適正使用の推進

【委員会構成】

医師2名、看護師1名、薬剤師1名、事務員1名

【内容】

2004年度は、9回の審議を行った。

新規に14品目（15規格）を採用、12品目（14規格）を削除とした。また、140床フルオープンとなり、対象疾患の多様化に伴う一時的な使用の為の特殊購入医薬品も増加した。その他、リスク管理の観点から、高濃度カリウムアンブル製剤の病棟、救急外来、オベ室ストックを廃止し、全て薬局管理とした。2005年度は、看護師をはじめ若手スタッフの多い当院においてさらなる安全管理が重要になる。引き続き、医薬品の適正使用のための情報収集と、速やかな情報提供に努めるべく本委員会を運営して行く。

診療機材購入検討委員会

【目的】

医療機器・診療材料等、診療に係る機材購入を審議

【構成】

委員長 庄野診療部長

医師2名、看護師2名、薬剤師1名、事務員1名

【内容】

検討機器：骨密度測定装置、超音波検査装置、

契約等：放射線機器保守契約

在宅酸素・超音波骨折治療器契約

人工呼吸器レンタル契約

2005年度導入予定医療機器

内視鏡装置一式

内視鏡洗浄装置

外科X線装置：Cアーム

マンモグラフィ装置

人工呼吸器

大型試薬保冷庫

臨床検査システム

外来検討委員会

【目的】

外来患者が安全かつ安心して診療が受けられるよう対策をたて、クレームや問題発生時には早期に対応し、解決策を検討することを目的とする。

【委員会構成】

医師1名、看護師2名、医事1名、薬剤師1名、検査技師2名、放射線技師1名、理学療法士1名

【内容】

- 外来待ち時間調査2回/年実施
- 造影CT・MRI検査における説明同意書の開始
- 各検査の予約の整備
- 検査案内用の外来地図を作成
- 患者誤認防止策について検討
- その他、各部署からの問題事項に対し検討を行った

連携協議会

【目的】

関連医療・福祉機関との病診・病病連携を円滑に行うため、病診連携の実情を調査し、他の医療施設との連絡・調整を行う。

【委員会構成】

委員長 大久保主任

医師1名、看護師5名、理学療法士1名、事務2名
計9名

【内容】

- 2003年度紹介患者数分析
- 連携機関との問題点検討
- 第4回 病診連携会議開催
(7月27日 16施設 合計139名参加)
- 町行事への参加(7月18日港祭り)
- 健康応援の集い開催
(11月21日 松島総合センター アロマ)
(上天草体育指導員会・スポーツクラブドリームズ共同開催)
- 五橋エリアの医療福祉を考える会発足
- 五橋エリアの医療福祉を考える会開催
(11月30日 67名出席)
- クリスマスコンサート開催
(12月23日)
(三角小学校・三角中学校の生徒さんボランティア)
- 第5回 病診連携会議開催

(2月22日 16施設 合計100名参加)

- 出前健康講座開催 (15回開催 合計585名参加)
- 医療機関情報誌検討と発行 (作成中)
- 「診療体制のご案内」校正、発行……熊本病院協力
- 研修会内容検討
- 外来一覧表・各種研修会の情報の配布 (毎月)

広報プロジェクト

【目的】

連携協議会の中にあつて、患者及び住民・他の医療機関へ当院を広く知って頂くための広報誌・ホームページ等の作成・整備及び講演活動の計画、その他広報を行う。また、職員に対しての院内広報を行う。

【委員会構成】

リーダー 益山医師

看護師3名、薬剤師・放射線技師・検査技師各1名、事務4名、計11名

【内容】

- 年報内容検討・校正
- ホームページ導入検討、操作手順内容説明会参加
- ホームページ作成内容検討
- バス広告検討
- 院内誌「済生くまもと」第60号、61号、62号内容検討
- 病院パンフレット作成検討

教育委員会

【目的】

病院全体として有用で効率的な取り組みを行うことにより職員の能力・モチベーションアップをはかる。2004年は年間の教育計画を作成し、いかに実践に役立て医療の質向上につなげるかをテーマとして取り組んだ。

【委員会構成】

委員長 田中看護部長

看護師4名、検査技師1名、事務1名

【内容】

2004年度は病院全体の取り組みとして階層別研修会、接遇の講演会等を実施したものの、部署別の教育に対する取り組みには部署毎に開きがあり、大きな課題を残した。看護部においては、教育プログラムに基づいた教育が実践できた。内容については以下の通り。

- 新人看護師に対して、病態・生理を理解し看護につな

げることを目的とした事例研究発表会を実施。15名の発表。

- 卒後2年目の看護師に対して、自らの患者疑似体験を看護につなげることを目的とした発表会を9月に実施。4名の発表。
- 卒後3年目の看護師に対して、実際に看護研究会の研修会に参加し、講義、指導を受けながら、個人・グループごとに看護研究に取り組み、3月に発表会を実施。3題の発表。
- 院外講師を迎えての院内看護研究発表会を3月に実施。8題の発表。
- 疾患、看護、リスクマネジメント、院内感染、創傷ケア等の定期的な勉強会を年間65回開催。

職場会

【目的】

職員間のコミュニケーションを図り、現場の声を反映させて働きやすい職場作りをし、職員の処遇や福利厚生を考えていく。

【委員会構成】

委員長 松村医師

看護師6名、看護助手・薬剤師・放射線技師・検査技師・臨床工学技師・理学療法士・栄養管理師各1名、事務2名 計16名

【内容】

- 職員の有給取得に関する意識調査アンケート
- 職場会に出された意見を病院側に反映
- 職員意見箱の回収 (男性、女性、医局ロッカー)
月一回 (第一水曜) の職場会開催日に回収し、出された意見を職場会で検討後、病院・担当部署・委員会などに要望し改善をはかる
- 職員の福利厚生に係わる年間行事検討・実施
お花見会の計画 (4/5 三角公民館にて実施)
新人歓迎ボーリング大会の計画
(6/25 宇土パスカワールドで実施)
バーベキュー会の計画 (参加者不足のため中止)
職員旅行の計画
(11/27・28 九重方面へ1泊2日で実施)
忘年会内容検討、司会、進行 (前半12/10 後半12/16)
- イベント行事への参加
三角みなと祭り (7/18)
医師会主催ミニバレー大会 (10/1)
- 2005年度より「職場改善委員会」と改称する

回復期リハビリ病棟運営委員会

【目的】

回復期リハビリテーション病棟の体制を確立し、円滑な運用と安定稼働を目指すとともに、内容の充実、レベルアップを図る事を目的とする。

【委員会構成】

委員長 宮川部長
医師3名、看護師2名、理学療法士2名、作業療法士1名
医療ソーシャルワーカー2名、事務2名

【内容】

毎月一回施行

- 体制確立への対策、「回復期リハビリ業務手順」作成
- 中・長期の目標設定と計画立案
- 安定稼働を目指して（収支状況、適正規模）
- 転倒・転落などインシデント・アクシデントに対する対策
- 質の高い医療サービスの提供、認知症・コミュニケーション障害患者への対応
- 患者急変時の対応
- 心地よいアメニティー作りと、音楽療法、趣味（手芸、園芸など）を生かしたりハビリ
- 研修の充実（学会・研修会参加、職員教育、地域への啓蒙活動など）
- 地域および、他医療施設との連携構築

機能評価についての勉強会を継続的に開催し、現状調査及び評価等を行った（評価データベースの作成・共有）。また調査の結果、明らかになった課題等について協議し、対策案の取りまとめを行った。さらに受審についての目的や有用性についての全職員のコンセンサスを図るため、概要説明会等を企画・開催した。

【その他】

（財）医療機能評価機構セミナー参加
10月（山口）、11月（益山、斉藤、士野）

医療機能評価プロジェクト

【目的】

受審を契機として、問題点の改善や機能強化を行い、より良質な医療を提供する。

【構成】

委員長 木下事務長
医師1名、看護師4名、薬剤師1名、検査技師1名、
事務4名

【活動内容】

2004年6月より病院機能評価の受審について検討
ㄨ 7月 プロジェクト立ち上げ
ㄨ 8月 メンバー公募
ㄨ 9月 月2～3回のペースでプロジェクト開催
2005年1月 概要説明会開催（全職員対象／2回）
ㄨ 3月 スケジュール発表
所属長・委員会委員長を対象に、説明・協議会開催